

報道関係者各位

2022年11月14日
株式会社アイネット

アイネット、LGBTQへの取り組みを評価する「PRIDE指標」において 最高ランクの「ゴールド」を受賞

株式会社アイネット(東証プライム市場上場、本社：神奈川県横浜市、代表取締役：坂井 満、以下「アイネット」)は、任意団体「work with Pride」が主催する、企業・団体等におけるLGBTQなどのセクシュアル・マイノリティ(以下、LGBTQ)に関する取り組みの評価指標「PRIDE指標2022」において、最高評価である「ゴールド」を受賞いたしました。



「PRIDE指標」の「ゴールド」マーク



坂井 満(代表取締役兼社長執行役員・中央)と
ダイバーシティ推進室メンバー

アイネットは、多様な社員が異なる分野の知識・経験・価値観を持ち寄ることで新しい発想が生まれ、製品・サービスの新規開発・改良に繋がるという考えに基づき、ダイバーシティを推進しています。性別・年齢・国籍・障がい・価値観・働き方に関わらず、個性を活かし、能力を発揮できるような環境創りを目指しています。LGBTQへの取組はダイバーシティ推進の重要テーマの一つであると捉え、以下のような取組を行っています。

【アイネットのLGBTQへの主な取り組み】

- ・従業員の同性パートナーを配偶者とみなす、パートナーシップ制度の導入を予定している。
- ・セクシュアリティに関する相談窓口を設けており、社内イントラネットで社員に周知している。
- ・社員研修で、LGBTQに関する基礎知識、対応例などを取り上げている。
- ・新卒採用のエントリーシートの性別記入欄は「無回答」を選べるようにしている。
- ・オフィスカジュアルを推進し、性別や慣習によらない服装を選べるようにしている。

他

これらの意識啓発・環境整備・風土づくり等の取り組みが評価され、今回の「ゴールド」受賞につながったと考えています。

以上

<「PRIDE 指標」について> <https://workwithpride.jp/pride-i/>

「PRIDE 指標」は、LGBTQ に関するダイバーシティ・マネジメントの促進と定着を支援する任意団体「work with Pride」が 2016 年に創設した、企業・団体等における LGBTQ などへの取り組みを評価する制度です。PRIDE の各文字に合わせた 5 つの評価指標について採点し、「ゴールド」、「シルバー」、「ブロンズ」の 3 段階で評価され、国の法整備支持やコレクティブ・インパクト型の取り組みを進める「ゴールド」受賞企業には「レインボー」の評価が与えられます。

<アイネットについて> <https://www.inet.co.jp>

アイネットは、データセンターとクラウドコンピューティングを展開するとともにシステムの企画・開発から運用・監視までカバーする独立系 IT サービスプロバイダーです。現在は、国内最高レベルのデータセンターをベースに、クラウドサービスビジネスを積極的に展開しており、自社のクラウド基盤上に業種業態を問わず利用可能なアプリケーションレイヤーのメニュー拡充を加速させています。一方システム開発事業では AI、IoT など先端の分野に注力するとともに、今後大きな市場拡大が見込まれている宇宙利用産業への取組みを本格化しています。

<アイネットのダイバーシティ推進について>

<https://www.inet.co.jp/sustainability/social/diversity.html>

アイネットは多様な人材が能力を最大限に発揮できるよう、またお客さまをはじめとするすべての人の Enjoy Life を応援するため、ダイバーシティ&インクルージョンを推進しています。2009 年 4 月 1 日に障がい者雇用を目的に特例子会社の株式会社アイネット・データサービスを設立、2014 年に女性の活躍推進を目的に女性委員会を発足、2019 年に女性活躍からダイバーシティへ推進範囲を拡大し、ダイバーシティ推進室を設置。社内外の様々な課題解決をすすめています。

<当件に関するお問い合わせ先>

株式会社アイネット

総務人事本部 人事部

ダイバーシティ推進室 小木曾、猪俣

TEL : 045-682-0797

E-Mail : dpo_inet@inet.co.jp